

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	30	COVID-19に感染、発症初期の投薬治療を推進できるか、入院治療になるか、その判断は訪問診療の医師の判断によるが、入院となった場合、ADLのみならずIADLの著しい減退を招くので、入院は回避したいが、発症初期で適切な診療につなげることができるか。	①ご入居のお客様の感染は、事実上、100%外部からの持込みであるから、役職員による感染対策の強化督励 ②役職員のCOVID-19感染の絶無	①役職員の同居の関係者の健康状態につき、感染に関連するものについて報告連絡を徴求する。 ②役職員のPCR検査の定例化(毎週) ③役職員の濃厚接触者該当について早期の発見	12ヶ月
2	34	あってはならないことだがCOVID-19感染者を出した際の施設としての行動マニュアルはあるが、県の所管課が発出したマニュアルに倣っている、大規模施設向けで参考にはなるが、ないよりはまし	①ご入居のお客様のみならず、役職員も感染しない ②役職員は無症状の感染者であると常に自覚した行動	①国、県、町から発出されている感染症対策指針等の徹底と朝礼、夕礼、訓示等で意識涵養に努める ②四半期、半年で対策指針が猫の目のように変化するから、常に現状に即した対策指針等の理解と馴致	12カ月
3	20	面会が制限下にあり、自由にかつ気軽に、時間を気にしない面会が困難になって不自由を強いることとなった。ZoomやLINE電話等でテレビ電話や会議が可能であるが、代替になりえない。家族と自由に面会できないことは、何よりの害である。	コロナ禍にあっても、自由な面会を実現する	①国、県、町から発出されている感染症対策指針等の徹底 ②屋外、当ホーム庭園での面会を楽しめる工夫。例:庭園のテーブルや和室前の広い濡れ縁(テラス)で軽食や会食の実施	12ヶ月
4	49	外出が制限下にあり、特にマスク着用の意味を数分で解さなくなる場合もあり、ある程度の時間さえ、滞留が許されなくなった昨今では、スーパーや商業施設はもとより、不要不急の外出を控えるはたらきかけもあって、外出が事実上困難となった。	コロナ禍にあっても、自由な外出を実現する	①マスク着用の意味を解さなくとも安心して外出できる先として、屋外で楽しめる場所の探索と時期の検討と実践 ②屋外、当ホーム庭園であたかも外出したのと同様に楽しめる施策の検討と実践	12ヶ月
5	2	開業前:常設するオレンジカフェ、認知症カフェを志向。当ホーム開設が3年遅延しカフェも計画変更。令和2年4月以降、まずは不定期で開始を企図するも準備段階でコロナ禍。新常態(ニューノーマル)化におけるカフェを軸とした地域交流を模索	グループホームが発信し、活動する、新常態(ニューノーマル)化におけるカフェを軸とした地域交流	①地元自治会(町内会)に法人会員として参加しているので、班長、自治会役員と交流し、目標にかなう地域の課題を探る ②自治会の行事に参加が可能な入居者とともに参加し、住民と交流し、目標にかなう地域の課題を探る	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。